

○出席者 委員10名(校長含む)中8名が出席

学校側出席者：教頭・事務部長・各部長・各科長 10名

○議事

- (1) 学校経営計画等の中間期までの報告・評価について
- (2) 地域連携を通じた教育活動の中間報告について
- (3) 各分掌の取り組みについて

〔協議の概要〕

- (委員) いろいろな取り組みをしていただき、保護者としてはありがたい。情報発信は新聞だけでなく、SNSの発信も必要では。新聞は見ない人もいる。私はYahoo!ニュースで情報を得ている。子供の数が減っている現状で、受験の時だけホームページを見るのではなく、普段からいろいろな方法で発信しておく、目に触れてよいのでは。
- (学校) SNSは効果的だと考えている。部活動の中にはInstagramにあげている部もあるとも聞いている。公式なものはまだ考えられていない。先進事例などよい例があれば教えていただきたい。
- (委員) 大学では公式なものと学生個人のものであるが、注目を集めるのは学生個人のものである。メディアリテラシーが問題になる。どういう情報を出してもよいのかが問われる。
- (委員) 公式に認定したSNSでの発信がよいと思われる。中学校でも個人が発信したものは被害に遭っている例がある。公式の中でできることを生徒たちが考えてもいいのでは。
- (学校) SNSへの発信は岡山県教育委員会も勧めている。一方でトラブルもある。SNSはFacebook・Instagram・X・LINEなどがあるが、公式なものは岡山県教育委員会への届出で開設できる。Xは書き込みによるトラブルが多い。Facebookは比較的年齢の高い人が利用している傾向がある。中学生にはInstagramか。前任校では公式にFacebookとInstagramを運用していたが、担当の教員が内容を精選し、ホームページのブログの内容と同じものをあげていた。肖像権の問題などさまざまな問題もある。校内では現在ホームページへのブログ発信のみだが、今後検討していく。
- (委員) 東高の生徒には通行を制限している後川沿いの道を、下校時に通る生徒がいる。雨の日や秋・冬は暗くなるのが早く、街灯も少ないので見づらい。歩道もなく、下りの車がスピードを出して通り抜ける。万が一事故があってもいけないので、雨の日などはとくに指導をしてほしい。
- (学校) 指導していく。
- (委員) おおむね「b」の評価だが、謙遜もあるのでは。大きな問題がないのでこのまま進めてほしい。次回は、先生方が最終評価したものを受けて、この会でそれぞれの項目ごとの最終評価をしていく。
- (委員) 地域に出て地域の課題解決について、生徒たちはボランティアではなく、地域の仲間として取り組んでいて、素晴らしい活動だと感じている。2年生が行う「行学全体発表会」は

保護者へは案内していないのか。

- (学校) 今年度は美作大学のホールをお借りして開催するが、学校の体育館よりも狭いので保護者や外部の方までは案内を控えている。会場を変更した初年度なので、まずは今年度やってみて次年度考える。
- (委員) 保護者も生徒の頑張りを知るよい機会となり、保護者世代にはなじみのない探究活動を知ってもらえ、津山東高校の大きな特色を理解していただく機会になると思う。来年度以降、検討いただきたい。
- (学校) 検討していく。
- (委員) 生徒のレシピコンテストの発表を聞き、プレゼン資料の完成度や内容が年々充実している。先生方はどうかかわってサポートをしているのか。
- (学校) 最近の生徒はプレゼン資料作成に慣れている。ただ文字が多い傾向があるので、減らすよう助言する程度である。また、外に向けての発表なので、内容は確認し、間違いのないようチェックしている。
- (委員) 後輩が発表を聞き、異学年交流にもなっているのがよい。
- (委員) 今年度は専攻科2年生の就職先は美作地区志望が多く、ありがたい。県外への流出が多くなり、医師会としてもどうしていくべきか考えている。地域の医療とは実習でかかわっていくが、都会に出ようとする生徒は最新医療とかかわりたいのかもしれない。津山中央病院などでの最新医療にどれだけ触れるのか。
また、実習先でメンターとなる看護師を見つけていく機会にもなるが、忙しいため実習中の生徒ときちんとかかわれないこともある。実習生は将来地域の担い手になるので、医師会として実習受け入れ機関にきちんとかかわるよう働きかけていきたい。
- (学校) 津山中央病院への実習は、専攻科1年生の半数と専攻科2年生全員が行っている。他校と調整して受け入れてもらっている。
- (委員) 県外に出る生徒は何を求めているのか、把握しておくことも必要だと思う。把握した上でどうするかを考えていくことができる。把握しているか。
- (学校) 担任が中心となり進路指導をしている。県外の医療機関については、生徒はホームページを見て選んでいる。県外に出る生徒の中には、大阪・神戸など都会へのあこがれやカルチャー的なことから選択している者もいる。
- (委員) イメージ先行ではなく、地域の魅力を伝えていくことも必要である。
- (委員) 生徒が何を求めているのか、どんなニーズがあるのかがうまく伝わるようマッチングが必要である。情報交換の機会を作っていく必要がある。
- (委員) 長期欠席者が増加傾向である。小・中学校も増加しているのが現状である。中学校時の状況を高校は知っているのか。
- (学校) 入学時に中学校から情報が来る。また、中高連絡会で中学校の先生から直接聞いている。
- (委員) 状況がよくなるとよい。中学校は別室があり、徐々に教室に戻していく。長期欠席者が1人でも多く教室に戻れるとよい。保護者も協力できたらしていきたい。PTA がつながるツールができたらと思う。